

春

ささなみ

右ひざをかばいながら

ひとあし ひとあし くつ底の

土の感触をあじわうように ゆっくりと

ちかくの公園をさんぽする

ザワザワゆれる竹林を とおりぬけると

太陽の光が さんさんとふりそそぎ

緑かがやく草はらに オキザリスの群生が

いつせいに 黄色い花をひらいている

そよふく春風と 小鳥のさえずりの

愛らしさにさそわれて 雑木林のこみちの奥へ

苔むした岩かげに 名もしらぬ

水色の花が ひっそりさいている

ちいさなお花さん こんにちは

くびにさげた双眼鏡をのぞいて

花にピントをあわせていく

モスグリーンに かすんでいた光景は

すこしずつ すこしずつ もやもやした霧がはれて

ずっと 待っていました

こころを じぶんのこころを

じぶんをこころから 信じていいのです

しずけさと 木々のかおりにいだかれて

汗ばんだあしは 土のこえを たしかにきいた